

3月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
祝祭のハングマン	中山七里	【司法を超えた復讐を行う彼らの名は〈私刑執行人（ハングマン）〉】刑事の瑠衣の父が会社に利用された挙げ句殺された。真相を隠蔽しようとする社長に怒りを覚える瑠衣の前に、探偵を名乗る男が現れる。
木挽町のあだ討ち	永井紗耶子	疑う隙なんぞありはしない、あれは立派な仇討ちでしたよ。芝居町の語り草となった大事件、その真相はー。ある雪の降る夜に芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆・菊之助による仇討ちがみごとに成し遂げられた。父親を殺めた下男を斬り、その血まみれの首を高くかかげた快拳は多くの人々から賞賛された。二年の後、菊之助の縁者という侍が仇討ちの顛末を知りたいと、芝居小屋を訪れるがー。現代人の心を揺さぶり勇気づける令和の革命的傑作誕生！
名探偵のままでいて	小西マサテル	第21回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作 「認知症の老人」が「名探偵」たりうるのか？ 孫娘の持ち込む様々な「謎」に挑む老人。 日々の出来事の果てにある真相とはー？ 認知症の祖父が安楽椅子探偵となり、不可能犯罪に対する名推理を披露する連作ミステリー！
バスに集う人々	西村健	バスに乗り、小さな旅を重ねる。そこには出会いと別れ、謎や事件がある。解決するのは家で待つ麗しき元刑事の妻。最大の謎に挑む
ボス/バイカー	上田未希	天才錠前師は盗賊を続けるか、パン屋になるかー。友に放った一発の銃弾が男の運命を変える。どちらの世界の人生を歩んでも結末は、ただひとつ!? 奇妙な並行世界ミステリー、前代未聞の衝撃作が登場！
ガウディの遺言	下村敦史	サグラダ・ファミリアの尖塔に遺体が吊り下げられた!? 前代未聞の殺人事件の裏には「未完の教会」を巡る陰謀が渦巻いてー。
霸王の轍	相場英雄	鉄路の下に巨悪は眠る。 警察キャリアの榎山順子は、北海道警捜査二課長に突如、着任することになった。歓楽街ススキノで起きた国交省技官の転落事故と道内の病院を舞台とした贈収賄事件を並行して捜査するなか、「独立王国」とも称される道警の慣習に戸惑う。両事件の背景に、この国の鉄道行政の闇が広がっていることも知り…… 大ベストセラー『震える牛』で食品偽装を、NHKでドラマ化の『ガラパゴス』で非正規労働の闇を暴いた筆者が、ついに鉄道行政にタブーに踏み込んだ！ 貴方に追体験してほしい。 彼女が組織で生き延びるための苦悩、真実を貫くためのあがきを。 ー村木厚子さん(元厚生労働事務次官) 「日本列島改造論」から半世紀、新幹線神話の虚と実ー。
息が詰まるようなこの場所で	外山薫	タワマンには3種類の間人が住んでいる。資産家とサラリーマン、そして地権者だー。 大手銀行の一般職として働く平田さやかは、念願のタワマンに住みながらも日々ストレスが絶えない。一人息子である充の過酷な受験戦争、同じマンションの最上階に住む医者一族の高杉家、そして総合職としてエリートコースを歩む同僚やPTAの雑務。種々のストレスから逃れたいと思ったとき、向かったのは親友・マミの元だった。かつては港区で一緒に遊び回り、夢を語り合った二人だったがー。 幸せとはなんなのだろう。 逃げ場所などない東京砂漠を生きる人々の焦燥と葛藤！

しごとへの道①	鈴木のりだけ	新シリーズ、読む「しごとば」が登場！迷って、悩んで、失敗して、自分のしごとを見つけるまでを、コマ割りのコミック仕立てで描いたリアルヒストリー。人生を変える言葉や人との出会いを、子ども時代から取材。しごとへの道はひとつじゃない！カラー16ページ、モノクロ176ページ、合計192ページの充実の読み応え！パン職人・新幹線運転士・研究者の3職業を収録。
いちじくのはなし	しおたにまみこ	子どもも大人も虜にした、不思議な絵童話『たまごのはなし』第2弾！おはなしかいを舞台に、ほらふきいちじくが大かつやく！こよいはなすは、まことのぼうけんものがたり。どうぞごゆるりとおたのしみください。第1話 ぼうけんのはじまり、第2話 オレンジのなみだ、第3話 キッチンでおきたこと。

【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました！

■一般書

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」

■「ESSE」

■児童書

